

都市再生整備計画 事後評価シート
野崎駅周辺地区

令和6年3月

大阪府大東市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	大東市		地区名	野崎駅周辺地区			面積	19ha		
交付期間	平成28年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	3,205.9(百万円)	国費率	0.482				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 道路(野崎駅西側線東側区域、野崎駅西側線西側区域)、地域生活基盤施設(野崎駅西・東側駅前広場、駐車場及び駐輪場、野崎駅自由通路)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(野崎駅西側線西側区域)			他事業の整備により十分な効果発現が期待できることから事業を削除			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 指標である「駅までのアクセス時間(徒歩)」に若干の影響があることから、目標値を「1.7分」から「1.8分」に増加させた				
		提案事業	—			—			—				
	新たに追加した事業	基幹事業	公園(野崎中公園)			にぎわいの創出及び交流空間の強化を目的として事業を追加			事業の追加に合わせて目標を定量化する指標として、「子育て世代の公園の利用率」を追加した				
		提案事業	—			—			—				
交付期間の変更	当初変更	平成28年度～平成32年度(令和2年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	駅前広場施設の不足度	%	77.3	H21年度	50.0	R4年度	—	5.4	○	あり なし	東西駅前広場の整備や東西間をつなぐ自由通路の整備等により、駅利用者の利便性が大幅に向上し、目標達成に至った	—
	指標2	野崎駅へのアクセス時間(徒歩)	分	5.4	H27年度	1.8	R4年度	—	1.8	○	あり なし	野崎駅の駅舎橋上化・自由通路・駅前広場の整備により、駅西部からのアクセス性が各段に向上し、目標達成に至った	—
	指標3	子育て世代の公園の利用率	%	68.5	H27年度	80.0	R4年度	—	77.0	△	あり なし	アンケート調査の結果より全世代対象の利用率では65.6%となったが、回答者の年代が50代以上の割合が多かったこと、従前値の調査において40代以下の回答率が97.3%であったこと、また、40代以下は子育て世代の中心層であることより、今回の調査結果を40代以下とした場合、利用率は77.0%となる。これより目標値には届かなかったものの、子育て世代の公園の利用率に寄与した	—
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	一連の整備に対する満足度	%	—	—	/		—	89.0	/	/	一連の整備により駅周辺の交通利便性が大幅に向上したこと等から、周辺利用者の満足度も合わせて高くなった	—
	その他の数値指標2	駅東西間の行き来に対する満足度	%	1.5	H21年度	/		—	70.6	/	/	駅東西を結ぶ自由通路の整備等により駅東西間の交通利便性が大幅に向上したこと等から、周辺利用者の満足度が高くなった	—
	その他の数値指標3	自転車駐車場に対する満足度	%	7.6	H21年度	/		—	64.2	/	/	自転車駐車場の立体化・駅舎との接続による利便性の向上により、施設利用者の満足度が高くなった	—
4) 定性的な効果発現状況	一連の整備により駅利用等に関する交通利便性の向上、交流空間の強化により、駅周辺のにぎわいが新たに生まれつつある												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	官民連携による取組		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
持続的なまちづくり体制の構築		行政(市)が事務局となり、地元自治会・商店街組合等で構成される野崎駅周辺総合計画推進協議会を設置し、意見交換等を行うことで、持続的なまちづくり体制の構築に努めた				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 野崎駅周辺総合計画推進協議会において、今後も意見交換等を行い、持続的なまちづくり体制の構築に努めていく			

様式2-2 地区の概要

野崎駅周辺地区(大阪府大東市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:安全・安心で魅力ある野崎駅前空間の創出 目標:JR野崎駅におけるまちの分断を解消するために駅舎の橋上化や駅前広場の整備により、人の移動の交通利便性を高め、併せて交流空間の強化を図る 目標:多様な世代が野崎駅を中心に交流し回遊できる空間の強化を図る	駅前広場施設の不足度	単位:%	77.3 H21年度	50.0 R4年度	5.4 R5年度
	野崎駅へのアクセス時間(徒歩)	単位:分	5.4 H27年度	1.8 R4年度	1.8 R5年度
	子育て世代の公園の利用率	単位:%	68.5 H27年度	80.0 R4年度	77.0 R5年度

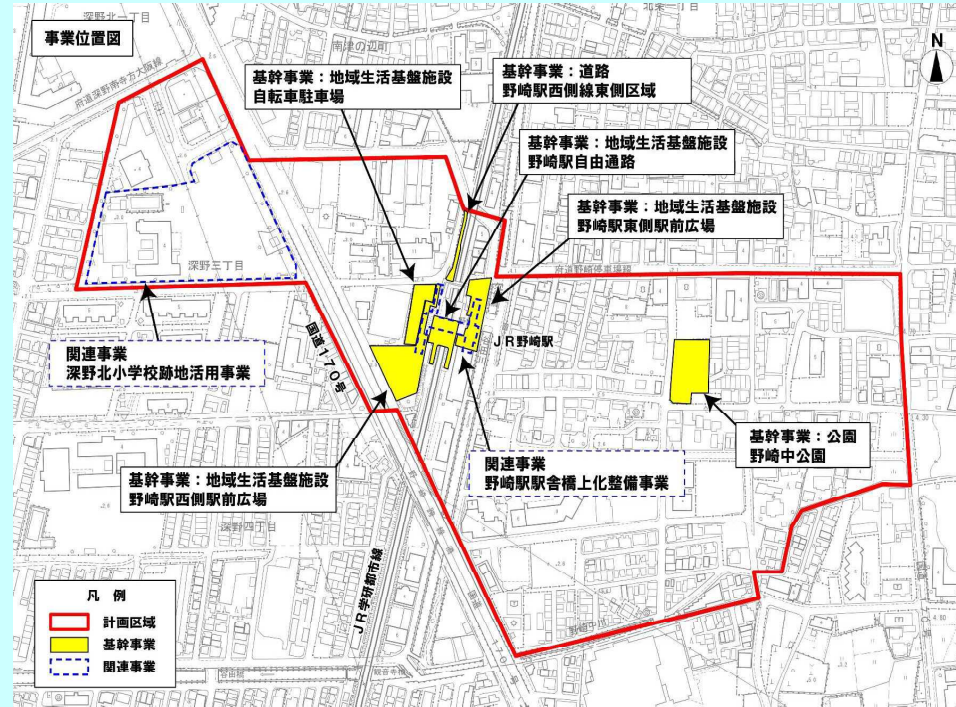
基幹事業:道路 野崎駅西側線東側区域



基幹事業:地域生活基盤施設 自転車駐車場



基幹事業:地域生活基盤施設 野崎駅自由通路



基幹事業:地域生活基盤施設 野崎駅西側駅前広場



基幹事業:地域生活基盤施設 野崎駅東側駅前広場



基幹事業:公園 野崎中公園



まちの課題の変化

- ・駅前空間の利便性向上が課題であったが、東西駅前広場の整備や東西間をつなぐ自由通路の整備等により、駅前空間の交通利便性が大幅に向上した
- ・公園施設の老朽化による施設整備が課題であったが、野崎中公園の再整備により、子育て世代を中心とする多様な世代の交流の場となり賑わいの形成が図れた

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・駅周辺のさらなる交通利便性の向上・交流空間の強化のため、接続する周辺道路等のハード整備を継続して行うとともにソフト施策も視野にいれ、本市の都市拠点として相応しい安全・安心で魅力ある駅前空間の創出を図る
- ・野崎駅周辺総合計画推進協議会において、今後も意見交換等を行い、地域の事業計画を円滑に実施できるように努めていく
- ・公共施設・用地を利活用したまちづくりを検討する等により、さらなるエリア価値の向上を目指す